

アクチュアリー関連 QA

※本資料は、日本アクチュアリー会のアクチュアリーセミナー部会（大学等）が、セミナー参加者向けに作成したものです。

二次配布および SNS 等への投稿はご遠慮ください。なお、掲載内容は、日本アクチュアリー会の公式見解を示すものではありません。

No	質問	回答
アクチュアリー試験		
1	アクチュアリー試験の概要について教えてください。	<p>アクチュアリー試験の受験に関する基本的な FAQ はアクチュアリー会の HP に記載されていますので、ご参照ください。</p> <p>https://www.actuaries.jp/examin/faq.html</p>
2	アクチュアリー試験に向けて、どのように勉強を進めている人が多いですか。	<p>試験の傾向を把握するために、アクチュアリー会の HP に公表されているテキストや過去問題を中心に学習を進めることが効果的だと考えられます。まずは「数学」から勉強を始める人が多い印象です。</p> <p>日々の学習については、業務の始業前や終業後、休日を活用し、計画的に勉強しています。実務が試験内容に直結することも多く、仕事を通じて理解が深まる好循環も期待できます。</p>
3	アクチュアリー試験の合格率と合格までの年数を教えてください。	<p>試験の合格には、準会員が資格取得まで入会時より約 5 年、正会員が約 8 年かかるとされています。</p> <p>また、試験の合格率は年度によってばらつきがありますが、平均的には 15～20%となります。</p> <p>なお、受験ペースや保有する知識や経験には個人差があり、実際の合格までの年数は人によって幅があります。</p>
4	資格試験に関して社内のサポート体制について教えてください。	<p>資格試験に関するサポートは会社によって様々ですが、資格試験のための勉強会を社内で実施している会社やアクチュアリー会提供の各種講座（基礎講座・特論講座）の受講支援を実施している会社等があります。</p> <p>サポートの詳細については、各社の説明会やインターンシップで確認するのがよいです。</p>
5	アクチュアリーが他のファイナンス関連の資格と比較して優れている点を教えてください。	<p>強みは希少性の高さです。アクチュアリー正会員数は他の資格と比較して少なく、高度な数理能力に加え、法規制や会計ルール、リスク管理を把握する専門家としての希少性が高いと考えます。保険会社や企業年金を扱う会社（生保、信託銀行等）では、法制度上アクチュアリーが必要となっており、資格保有者がいないとできない業務があることも強みです。</p> <p>また、アクチュアリーを持つ数理的な分析力・判断力は、社会・経済情勢が変化していく中、様々なシーンで必要とされています。例えば、多種多様なデータを分析しビジネスに活用可能な価値を引き出すというデータサイエンスとも親和性が高く、技術革新により可能になった機械学習等の新たな分析手法を駆使することにより、アクチュアリーの活躍の場はますます広がっています。</p>

No	質問	回答
6	アクチュアリー試験には、どの程度の数学の知識が要求されるのでしょうか。（学部生レベルなのか、大学院で専門的に学ぶような内容も含まれるのか等）	アクチュアリー試験では、一部の分野でやや専門的な内容を扱うこともありますが、基本的には大学学部レベルの数学や確率・統計の知識を理解していれば対応できる内容が中心です。大学院で専門的に学ぶような高度な数学知識が前提となっているわけではありませんが、基礎的な数学を継続して学び直し、応用できる力が求められます。アクチュアリー会の HP にテキストや過去問題が掲載されていますので、ぜひ見てみてください。例えば「数学」の過去問題を見ていただくと、必要とされる数学レベルが分かると思います。
7	CERA 資格とはどのような資格でしょうか。	CERA (Chartered Enterprise Risk Actuary) は、アクチュアリーが取得できる ERM (全社リスクマネジメント：エンタープライズ・リスクマネジメント) に関する国際資格です。CERA は、企業価値の創出・最大化に大きく貢献でき、最高リスク管理責任者 (CRO) としての活躍も期待される存在です。 アクチュアリー会の HP には CERA に関する詳しい情報や CERA 資格取得者の声が掲載されていますので、ご参照ください。 https://www.actuaries.jp/cera/summary.html
就職活動		
1	アクチュアリー採用を目指すにあたり、エントリーシートなどにおけるアピールポイントを教えてください。	アクチュアリー業務では、答えのない課題に対して粘り強く考え抜く力が求められます。ご自身の経験上の困難な課題に対して「どのように道筋を立て、どのような工夫や試行錯誤を重ねて取り組んだのか」といったプロセスを、具体的に伝えることが効果的だと考えられます。
2	クオンツとアクチュアリーの違いについて教えてください。また、クオンツ試験とアクチュアリー試験を併願する人はいるのでしょうか。	クオンツは金融工学を用いた資産運用や金融商品の価格決定を主に扱います。一方、アクチュアリーは保険数理をベースに保険料の設定や会社の健全性管理を担います。いずれも数理能力を業務に活用する点は類似しており、両方を併願する学生も見受けられます。なお、アクチュアリーは単に計算するだけでなく、計算結果を経営陣や顧客に分かりやすく説明する能力も求められます。
3	アクチュアリーの実務について、具体的に知る方法はありますか。	アクチュアリーの実際の仕事に触れてみたい場合、各社が実施しているインターンシップに参加するのもおすすめです。実務に近い課題に取り組んだり、現場のアクチュアリーと直接話ができる機会もあり、業務内容をより立体的に理解できます。インターンシップの情報は、各社の採用ページ等で公開されていますので、興味があればチェックしてみてください。

No	質問	回答
キャリア		
1	学位（学部、修士、博士）によって採用状況や就職後のキャリアに差はあるのでしょうか。	採用状況や入社後のキャリアは各社で異なりますので、各社の説明会やインターンシップで確認するのがよいです。学部・修士・博士のいずれであっても、それぞれで培った研究手法や論理的アプローチは、各種問題の解決に取り組むアクチュアリー実務に活用できます。
2	アクチュアリーとして社会に出たあと、大学に戻り研究を担う事例はあるのでしょうか。	実務などで得た知見や課題を踏まえ、大学の教員や研究者として学術界に戻り、活躍するケースもあります。また、アクチュアリー会では論文発表の機会もあるため、会社に所属しながら研究し、論文発表を行っている人もいます。
3	アクチュアリー試験で学んだ内容は、どのような業務や分野で活用されていますか。	多くの正会員が、保険会社や信託銀行、監査法人などの専門部署で働いています。取得した知識をそのまま実務の最前線で活用できる、実用性の高い資格といえます。一方で、必要とされる知識・能力は法改正や世の中の環境変化で刻々と更新されますので、資格取得後も新しい知識・能力の習得が常に求められます。 また、その他の業界では、数理モデリングやデータ分析技術を生かして IT 業界で活躍するケースや、リスク管理の専門家として活躍するケースなど、様々な事例があります。金融庁や厚生労働省などの規制監督当局で活躍される人もいます。
4	若手のうちから、アクチュアリーとしての専門的な仕事に携わることはできますか。	会社や部門によって異なりますが、アクチュアリーは若いうちから、数理・統計を用いた分析や評価など、専門性を活かした業務に携わる機会が比較的多い職業です。最初からすべてを任されるわけではありませんが、実務を通じて徐々に専門的な業務への関与が広がっていくケースが一般的です。
5	正会員であることが求められる業務や、準会員・研究会会員の関わり方について教えてください。	保険計理人および年金数理人については、日本アクチュアリー会の正会員であることが要件として定められています。 また、近年の経済価値ベースのソルベンシー規制においては、「保険負債の検証に関する報告書」の検証責任者について、日本アクチュアリー会の正会員であることが要件の一つとされています。 これらは、実務そのものというよりも、制度上の役割に関する要件ですが、実務全般における関与の仕方は、会員区分そのものよりも、個々の経験や専門性に依拠して決まることが一般的です。 ただし、企業によっては、制度上または対外的な関係から、正会員であることを前提としているポジションが設けられている場合もあります。
6	特定の大学を出ていなくても、アクチュアリーとして十分に活躍できますか。	出身大学に関わらず、アクチュアリーとして活躍することは十分に可能です。アクチュアリーは、特に入社後の努力や継続的な学習が重要な職種であり、実務や資格試験を通じて、基礎的な数理力に加えて、学び続ける姿

No	質問	回答
		<p>勢や課題に粘り強く取り組む力が求められます。</p> <p>これらの力があれば、出身大学がキャリアの制約になることはありません。</p>
7	<p>アクチュアリー資格の取得前後で、業務内容にはどのような変化がありますか。</p>	<p>会社や部門によって異なりますが、アクチュアリー資格の取得前後で業務内容が劇的に変化することはなく、業務の中で期待される役割・ポジションや関与の度合い、待遇面が徐々に変わっていきます。これは、アクチュアリーに求められる専門性が環境変化に合わせて常にアップデートされるためであり、資格取得後も継続的な学習（CPD:Continuing Professional Development）や社内外での発信を通じて、専門性と信頼を積み上げていくことが必要となります。</p>
会社生活		
1	<p>アクチュアリーの給与・賃金水準について教えてください。</p>	<p>アクチュアリーの給与・賃金水準については、会社ごとの人事制度、役割・責任範囲、経験年数、資格の保有状況、市場環境等により大きく異なるため、一律にお伝えすることは難しい内容となります。高度な専門性と責任を要する職種であることから、専門職として位置付けられ、その位置付けのもとで処遇が設計されるケースもあります。具体的な処遇については、各社の人事方針や採用情報等をご参照いただくのが適切と考えております。</p>
2	<p>大学での学びは実務にどのように活用されるのでしょうか。</p>	<p>確率論や統計学といった知識は、実務の直接的な土台となります。実務では、計算結果を考察する力や論理的に説明する力が重要です。数学科に限らず、大学で培われる論理的な思考プロセスや説明力は、業務において役立ちます。</p>
3	<p>アクチュアリー会には論文発表を行う機会があると聞きました。具体的に教えてください。</p>	<p>実務の傍らで研究し、日本アクチュアリー会の年次大会や国際アクチュアリー会議で発表を行う機会があります。</p> <p>アクチュアリー会には学術委員会が設置されており、大学などの研究者と連携しながら学術機関との橋渡しを担っています。さらに、国際アクチュアリー会議（ICA）といった国際舞台での研究発表を目指す活動も後押ししています。</p>
4	<p>アクチュアリーの主な勤務地について教えてください。</p>	<p>アクチュアリーの勤務地は、本社機能が東京に集中していることから、東京勤務が多い傾向にありますが、会社や部門によっては大阪をはじめとする他の地域で勤務する場合があります。</p>
5	<p>アクチュアリーのワークライフバランスについて教えてください。</p>	<p>アクチュアリーの業務は、決算期やプロジェクトの進行状況によって繁忙になる時期がありますが、平時については比較的計画的に業務を進めやすい面があります。また、会社や部門によって働き方は異なるものの、業界全体としては業務効率化や柔軟な働き方を取り入れているケースも多く、仕事と私生活のバランスを意識しながら働いている人が多いと考えられます。</p>

No	質問	回答
6	プログラミング能力は業務で、どの程度必要になるのでしょうか。	データ処理やデータベース操作においてプログラミングが必要になります。ただし、ほとんどの人が業務を通じて学習するため、現時点でのプログラミング能力はそれほど問題ではありません。
7	アクチュアリーの方々は、勤務時間、在宅勤務の状況など、どのような働き方をしているのでしょうか。	会社や部門により異なりますので、各社の説明会等でご確認ください。なお、業界としては在宅勤務制度のある会社が多く、そのような会社では業務の繁忙に合わせて、出社とリモートを使い分けている方が多いです。
全般		
1	アクチュアリー業務に AI が与える影響について教えてください。	AI により、定型的な計算業務やデータ整理は効率化されます。一方で、その結果をもとにビジネスの意思決定や課題解決につなげたり、自社の経営陣や、社外の企業年金顧客等に対して説明や提言を行ったりすることは AI に取って代わることはなく、アクチュアリーの価値はより高まると考えられます。
2	データサイエンスは、アクチュアリーの業務のどのような分野に活用されていますか。	データサイエンスは、アクチュアリーの様々な分野で活用されています。特に、データ量やデータの種類の豊富な分野では親和性が高く、自動車保険におけるテレマティクスデータの活用や、ウェアラブル端末を用いた医療保険などが代表的な例として挙げられます。 一方で、データサイエンスの定義には幅があるため、分析や予測のための技法という観点では、分野を特定せず、予測モデルの作成や各種分析といった場面で幅広く活用されています。
3	教育分野との連携について教えてください。	アクチュアリー会では、教育分野との連携として、大学への講師派遣などの取り組みを行っています。また、アクチュアリー会の活動とは別に、個人として大学の講師や非常勤講師を務めている会員もいます。 このほか、アクチュアリーセミナー部会（大学等）では、各大学の学生を対象に、アクチュアリーセミナーの講師派遣などの活動を行っています。
4	プロフェッショナリズム研修の内容について教えてください。	アクチュアリー業務は公共性が高いため、専門能力だけでなく、強い倫理観も求められます。プロフェッショナリズム研修では、アクチュアリーが専門職として業務を行ううえで守るべき行動規範や、基本的な考え方を学びます。正会員資格取得の要件の一つとして行われる初期研修と、正会員となった後も継続して受講する継続研修があります。
5	アクチュアリーとして働く際に、どのような性格の方が向いていますか。	アクチュアリーには、数字の微細な変化からリスクを察知する「探究心」と、その根拠を論理的に伝える「説明力」が必要です。 わずかな数値の差が経営に直結するため、正解を追う誠実さが不可欠です。また、高度な数理モデルを専門外の人にも分かりやすく翻訳し、意思決定を促す発信力がある人は、ビジネスの現場で非常に重宝されます。

No	質問	回答
6	大学で数学科を卒業、または統計を履修していないと、アクチュアリーになるのは難しいということはあるですか。	アクチュアリーのパックグラウンドは様々で、経済学部や農学部など数学科以外の人でも多数いらっしゃいますので、特段の問題はありません。なお、資格を目指す上で、試験のテキストや問題では数式や数学記号がたくさん出てきますので、それらを問題なく読める程度の数学的な能力（高校の数学ⅡB・ⅢC程度）は必要です。
7	分野（生保・損保・年金）別の人数に差異がある理由はなぜでしょうか。	理由の一つとして、それぞれの分野における歴史的背景・起源の違いが挙げられます。 生保…明治時代（欧米から近代保険制度の導入） 損保…高度経済成長期（モータリゼーションの拡大） 年金…1988年（年金数理人制度の確立）

無断転載・使用禁止